

# 取組発表をふまえてグループワークを行いました！

## 一般社団法人 蜜柑の木

### 「困難を抱えた若者が自分らしく過ごせる居場所事業」

#### 【考える現状と課題】

- ・現在支援しているのは、不登校やひきこもりの若者（高校生以上の年代が中心）
- ・今すぐにはできる支援策は限られており、即効性のある手立てが見つかりにくい

#### 【意見交換の内容】

- ・困難を抱える前の段階で、社会全体が「予防的な関わり」を持てる仕組みが必要
- ・子どもたちにとって必要なのは、体験・経験・本物の超一流の大人との関わり
- ・社会や地域の制度が、女性の働き方や子どもの育ちに追いついていない現状も見直すべき課題
- ・食事は心と生活の「土台」となり「食からのアプローチ」は支援の重要な入り口となる



会場+WEB参加 計6団体

## ぼくらのアカデミー

### 調べて、試して、発表できる探究型の自習室「NEO寺子屋」プロジェクト

#### 【考える現状と課題】

- ・現在の子供の居場所をより良いものにし、継続的に実施出来るものを取り入れたい

#### 【意見交換の内容】

- ・親御さん向けに不妊に関するセミナーや食育関連の雑誌の配布、身体を動かす遊びや運動イベントの実施→単発イベントでは実現可能でも、「継続的に実施していくにはどうすればよいか？」が今後の大きな課題

#### 【実現に向けて】

- ・今後のイベントや既存のお泊り会でブースを各自出店し、上手くいけばプログラムに組み込むことも出来るかもしれない。
- ・地域外の企業から参画頂く事で呼び水の形で地元の業者の方への刺激になる可能性もある。



会場参加 計5団体

## 特定非営利活動法人 こどもソーシャルワークセンター

### 生きづらさを抱える若者を世の光にプロジェクト

#### 【考える現状と課題】

- ・過去10年間、困難を抱える子どもたちに対し、食事や居場所を1日単位で無償提供する活動を継続している。

- ・支援が手厚いがゆえに、運営コストが非常に高くなっている。

（例：利用者約50名に対して、職員1名が利用者1名を対応する1対1の体制

→この体制では人件費負担が大きく、継続的な運営が困難になる可能性がある。）

#### 【支援の可能性】

グループ内には食品・飲料を提供可能な企業もあり、物資支援の提案もあった。

しかし、民間企業同士だけで調整し合うには限界があるのも事実。

#### 【実現に向けて】

- ・民間支援者同士をつなぐ「ハブ機能」や「コーディネーター的役割」を行政などが担って頂くことが必要

- ・支援が属人的・単発的にならないよう、持続可能な支援モデルの設計が必要である。



会場参加 計4団体